

# 令和2年度学校関係者評価報告書

学校法人川江学園  
お宮の里幼稚園

## 1. 本園の教育目標

「心豊かdeganばる子ども」の姿を目指して、知育、徳育、体育の理念を大切にされた適切な指導と環境を設定し、子ども達の人間形成の基礎を培い、心身の発達を助長する。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り、教育内容の改善に取り組むとともに安全管理面においては、繰り返し避難訓練を行って、反省と改善を積み重ねていく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育方針・教育課程	B	教育課程の理解を進めるために現在の幼児の姿を踏まえた見直しを行った。また教育方針の共通理解を繰り返し行った。
2	保育計画の策定	B	幼児の日頃の姿を観察し、子ども達の興味関心に基づいた計画を策定するように心がけた。また、教職員間において計画策定の経緯と実践効果について会議を行い、情報共有に努めた。
3	保育の質の向上	B	大学教授を迎えて園内研修を行い、より良い保育環境作りをテーマにして会議を重ねた。特に時期に応じた環境準備について重点的に取り組み、年度半ばでの子どもの興味関心を基にした環境風景を写真撮影して、教諭間で共有を図った。
4	安全管理	B	今年度は新型コロナウイルスの対策手順について職員の周知を図った。また、子どもや保護者に対する衛生面での対応や教室をはじめ、遊具等の消毒作業についても共通認識を図るための会議を行った。

#### 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	重点的に取り組むべき目標や計画、課題について、全教職員が認識し、自己点検・自己評価に取り組み、自らの保育や安全管理を振り返ることで、段階的に改善することができたと思われる。しかし、各項目に対して新たに発見された課題もあるため、今後課題の解決に努めていく。

#### 5. 今後取り組む課題

	評価項目	取り組み状況
1	保育の質の向上	教職員の増員により、保育の均質が損なわれないよう新規採用の教諭に対して園の教育目標や教育方針の理解を促進し、全体の更なる底上げを図っていく。
2	情報発信・対応力の向上	園の教育目標や教育方針に対する理解の促進を図っていくことが必要と思われる。具体的には「おたより」等を通じて、日頃の幼児の姿だけでなく、どのような背景から保育を実践しているのか、どのような経緯で行事種目としたのか等を伝えていく。
3	安全管理	新型コロナウイルスの収束が未だ不透明なため、引き続き対応マニュアルの充実化を図るとともに全職員が同レベルの認識を持つよう周知を徹底していく。

#### 6. 学校関係者の評価

子ども達のがのびのびと楽しく取り組んでいる姿が見られ、園の教育方針が教職員一人ひとりに浸透していると感じられる。子ども達の環境作りなどに努力しており、引き続き方針に則って保育を進めていくことが望ましい。

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

学校関係者評価委員 印

委員会実施日 令和3年2月26日